

〈 受験体験記 〉 令和3年3月卒

—大学—

茨城キリスト教大学看護学部（女子）

私は将来看護師を目指しています。大学は学費の不安もありましたが、日本学生支援機構の奨学金を利用しました。また、大きな病院には一定条件のもと返済不要になる奨学金の制度もあり、そちらの利用も検討中です。奨学金は学生のうちから大きな借金を背負うというマイナスのイメージもありますが、私にとっては「自分で返すからには真剣に行きたい大学を選び何としても合格する」とモチベーションを高めるものになりました。

私が受験に取り組み始めたのは部活を引退した3年生の夏休みでした。事前予約制で行われた入試説明会では、面接や志望理由書を書くにあたっての大事なポイントが聞けました。私は総合型選抜1期を受験し合格しました。志望理由書・課題図書の要約と自分の考え・調査書を9月中に出願書類と一緒に提出し、10月に面接を行いました。志望理由書や作文は先生方のアドバイスをいただきながら何度も書き直し、納得のいく仕上がりになりました。面接では、部活でよく先生から言われ作文にも書いた「目配り・気配り」について具体的にはと質問され、バレー部で経験したこと学んだことがとても役立ちました。私は評定5.0、無遅刻無欠席でした。志望理由書や面接は短期間でも何とかありますが、調査書の評定や普段の生活態度などは入学したときからずっと継続し積み重ねていくものです。バレーのために紫水に入学したのにコロナの影響で3年生最後の大会が無くなり結果を出せず、それでも何か結果を残したいと思ってこの大学を受験しました。夏の三者面談では合格できるかわからないと言われてたけれど、先生方のサポートもあり無事合格することができました。本当にありがとうございました。

国士舘大学 経営学部 経営学科 AO入試（男子）

私が国士舘大学を志望した理由は、建学の精神に惹かれたからです。試験内容は小論文・面接・書類審査です。他大学に比べ、国士舘大学は提出書類が多いため、3年生の4月頃から対策し始めました。私が対策したことは主に5つあります。

- 1 大学が掲げる「建学の精神」, 「AP」(アドミッションポリシー。入学者受け入れの方針のこと。), 「CP」(カリキュラムポリシー。教育の方針のこと。), 「DP」(ディプロマポリシー。学習成果の目標のこと。)を自身の考えにマッチするか…の確認。
- 2 他大学には見られない、その大学の学部学科だけの強みを知る。
- 3 卒業後の将来像の具体性を今の社会と照らし合わせながら考える。
- 4 他の受験生にはない自分の強みを持つ。
- 5 「なぜ?」を追求し、どのような形で質問されても答えられるようにする。

これらを常に頭に入れながら、小論文・書類・面接のネタを考えて対策をしました。とにかくノートにメモをして、自分の考えや先生方のアドバイスを整理していきました。それを繰り返していくうちに、文にしたり言葉にしたりがスムーズになっていき、応用もきくようになってきます。

受験当日の時間割は、1時間目が小論文、2時間目が面接でした。小論文は紫水の先生方と対策したおかげでつまづくことなく解くことができました。面接は受験生1名に対して面接官2名で対面でした。今年度は新型コロナウイルス対策のため扉のノックをしないようになど、いろいろな指示が出ました。雰囲気は圧迫感がある感じがしました。しかし、あらゆる面接を想定して、先生方と多くの練習を積んで臨んだおかげで、落ち着いて受け答えでき

ました。

さらに、自身が答えたことが面接官の共感を得たのか受けがよく、予想以上に対話が弾み、圧迫感から良い雰囲気になっていき、そのまま面接を終えることができました。そのおかげもあってか合格することができました。

以上の体験から、私が皆さんに伝えたいことが3つあります。

- 1 完璧を求めすぎない。形だけの受け答えだけではなく、「臨機応変力」が大切。
- 2 先生方に感謝の気持ちをもつ。本気で立ち向かう生徒には、本気で向き合ってくれます。
- 3 どんな経験もネタになるので、検定・ボランティア・見学や体験・多くの人との対話など、コロナ禍でも可能なことを、失敗を恐れず手当たり次第にやってみる。

これらのことを頭に入れ、自分の進路を見据えて日々の生活を送ってみてください。いろいろな発見があるはずです。それを自分の力にして、是非頑張ってください。

常磐大学人間科学部健康栄養学科 (女子)

私は、将来公認スポーツ栄養士になりたいと考えている。そのため、管理栄養士の国家試験が受けられる常磐大学の健康栄養学科に進学することを決めた。大学受験を通して学んだことがある。それは、『高校生の私たちは何にでもなれる。』という事だ。しかし、何にでもなれるが、それに見合った努力が必要だ。だから大学は、になりたい自分に近づくための学ぶ場所だと思う。

私は、高校3年の夏まで、しっかり進路を考えていなかったが、今までの経験と先生方からのアドバイスで様々な視点から将来のやりたい自分を考えるようになった。そして、自分のやりたいことを見つけることが出来た。自分で見つけ、決めた道だから、とてもワクワクしている。

進路をきっかけに資格取得にもチャレンジした。漢検準2級、英検3級。合格が決まってからも資格取得に励んでいる。皆さんにも是非、やりたい自分を想像し、多方面から考えられるようになってほしい。そしたら、心の底からやってみたいと思えることが見つかると思う。何にでもなれる今を最大限利用して、色々な事に挑戦し、自分の自信と可能性につなげていってほしいと思う。

千葉商科大学商経学部 (男子)

私は将来、物流関係の仕事をしたと考えていました。実際の受験校をきめたのは、3年生の夏ごろでした。私は、春ごろまでは、工業系の大学を志望していましたが、将来が明確に決まり、物流関係の仕事に就ける大学を調べました。

1年生の時は、何もみつからず過ごしてしまいましたが、2年生の時に将来の目標が決まり、そこから進学意識が高まり、最初に私は評定平均4.5以上とることに目標し、定期テストの勉強をし、最終的には評定平均4.5以上をとることができました。私はこの成績をもとに受験校を考えました。

入試本番前の準備では(私は指定校推薦だったので)、事前提出型小論文と面接+書類審査でした。面接は放課後に練習をし、小論文は最初は自分で考え、先生にみてもらい提出をしました。

私は、2年生からでも遅くないと思っているので、1, 2年生で目標を決めて努力することが大事だと思いました。

私が志望する職業・大学が決まったのは、三年生の夏休みに入る直前でした。それまでは、医療の道に進むというだけで曖昧なままで細かくは考えることはありませんでした。三年生になる前に不安な気持ちでいっぱい誰から聞いたら良いのか、どう決めたら良いのかが分からず進路相談室に行きました。先生と話しているうちに自分のなりたい職を見つけることができ、なりたい職に一番近づける大学を選びました。鍼灸は、自分の身近なものではありませんでしたが、調べているうちに本気で進みたいと志願するようになりました。

卒業後の進路に進む幅を広げるために、一年生の頃から勉強と部活の両立に励みました。二年生になると自ら特別進学クラスに進み、勉強のレベルアップにも挑戦しました。

実際の入試では、二科目の筆記試験と5分の面接でした。主に筆記試験を重視していたので教科の先生からのアドバイスや問題集で対策していききました。

誰しも勉強は嫌いですが、何か目標を持つと勉強をするのが楽しくなります。私は大学合格という目標もありましたが、別の目標も持ちながら取り組むと頭の中に知識も入り易く、とてもモチベーションが上がります。それでも不安であれば、友達や先生と話すだけでも勇気が出ると思います。「自分なんか」と思わずに、できることから取り組んでいきましょう。また、頑張り過ぎずに体調管理にも気を配っておくことも大切にするといいでしょう。

私は北海道からこの藤代紫水高校へ入学しました。よりレベルの高いハンドボールを行い、全国大会で優勝したいという目標があったからです。ハンドボールだけでなく、勉強との両立も必死に行いました。先生方の分かりやすく工夫された授業のおかげで、3年間良い成績を取り続けることが出来ました。そして、私の夢である教職に就くために、それに見合った東海大学への進学を決めました。

大学の入試は1次試験と2次試験があり、1次は書類審査、2次は面接とプレゼンテーションという形で行われました。書類審査では、3年間の競技成績や証明書などを含め、沢山の書類の提出が必要とされ、顧問の先生や担任の先生方に何度も確認をして頂きながら、提出期限に余裕を持って提出することが出来ました。

2次試験の面接とプレゼンテーションでは、特にプレゼンテーションが多忙を極めました。プレゼンテーションは今までの経験が全くなく不安な要素だらけでしたが、担任の先生とも話し合いながら地道に進めていきました。見ている人により伝わるようにグラフや表を活用したり、事実に基づいた説得力のあるものになるようアンケートを実施するなど、万全の準備を行いました。正直、大変すぎて心が折れそうになる時もありましたが、1次と2次が終わり大学の方から合格が伝えられた際はなんととも言えない嬉しさと感謝の気持ちでいっぱいでした。

私は今回の受験を通して、改めて人との繋がり大切さを感じました。先生方がどうしてここまで一人一人の生徒に真剣に向き合い協力してくれるのか。それが先生の仕事だから？いいえ、違います。私達生徒が、普段の学校生活や授業などからしっかりとメリハリをつけ、行動しているからです。逆に、校則も守らず学校生活でダラダラしている人に協力してあげたいと思うのでしょうか。先生方の気持ちになってみれば分かることです。勉強の得意不得意は人それぞれあるかもしれませんが、当たり前前の事を当たり前出来る人間には誰しもがなれます。校則を守る、人に会ったら挨拶をする等です。そして、「あたりまえ」を「ありがとう」と言える人になって欲しいです。なぜならそれは、必ず自分に返ってきて自分の為になるからです。

最後に、このコロナ禍の中で色々な事が制限され、窮屈な生活を送っている人が私を含めほとんどでしょう。こんな中で一番失ってはいけないのは「夢」だと私は思っています。夢

は希望です。私も教職になるという夢(希望)がなければ、こんな狂った世の中を生きていくことが出来ないと思います。こんな時だからこそ夢を諦めず、希望を持ち続けて欲しいです。皆さんが真っ直ぐ自分の道を突き進むことを応援しています。

了徳寺大学看護学部（女子）

私は、将来、看護師になるという夢を高校1年生の時に抱き始めました。当時の担任の先生から看護専門学校を勧められて、その学校について調べていくうちに、大学よりも実習ができることや、1年早く看護師になれると思い、その専門学校を志望していました。

ですが、3年生になって出願の時期に近づいたある日、コロナ禍にも見舞われ、またその学校の方針もあって、募集定員を大幅に削減するという連絡が届いてとても動揺しました。今後はその学校の附属病院の求人も、専門学校出身者より大学出身の看護師を多く採用していくという方針である現実も知りました。すぐに担任の先生と進路指導の先生に相談して、いくつかの大学を勧めていただきました。そして、自分でも大学についていろいろと調べてみました。

看護系の大学が想像以上にたくさんある中で、了徳寺大学だけに芸術の授業があり、その授業で豊かな人間性を培い、人の気持ちを感じ取る力を身に付けることができるということに驚きました。また、東京大学医学部附属病院や、順天堂大学医学部附属浦安病院など、最先端の病院で実習ができるところにとても魅力を感じました。

3年生の1学期が終わるまで悩んだ結果、専門学校では看護のことを集中して学ぶ環境が整っていますが、さらにプラスαのことも身に付けられるのが大学の強みなので、私は大学に進学しようと決心しました。了徳寺大学では、自分が目標とする看護師像に近づけると実感できたので、この大学を志望しました。今は、あれほど執着した専門学校から思い切って大学進学に切り替えたことを、本当に良い選択だったと思います。先生たちのおかげで家族ともよく相談して決められたことを感謝しています。

－ 専門学校 －

筑波学園看護専門学校（女子）

私は2年生の時に看護師を目指すことを決め、進路先を専門学校にするか大学にするか悩みました。私は一般教養を学ぶ事や、時間に余裕のある学生生活への憧れがなかったことから専門学校を受験することに決めました。

公募推薦が使える学校だったのですが、2年生の2学期の時点では評定平均が推薦基準を満たしていませんでした。そこで、テスト勉強に力を入れました。そしてなんとか評定基準を満たし、公募推薦を使って受験をすることができました。3年生の夏頃から面接と小論文の練習を始めました。面接はあらゆる質問に対応できるようにどの面接でも聞かれるような質問や自己PR、最近の医療関係の質問など様々な質問に対しての答えを暗記して臨みました。小論文は志望校で過去に出たお題や看護小論文の参考書を見て、どの文字数でも時間内に書き切れるように常に時間を計りながら練習しました。

本番の小論文は安楽死についての本から抜粋した文章を読んで自分の考えを書くものでした。難しい題材でしたが、読み取れる内容と自分の意見をまとめ最後まで書くことができました。面接は面接官3人、受験者5人のグループ面接でした。何部屋かに別れていて案内された部屋で面接をするのですが、私の案内された部屋は校長先生が面接官を務めていました。校長先生は想定外の圧迫面接で、内申書を見ながら成績が悪い、勉強不足、こんなじゃ看護師になれないなどと、周りの受験生たちは何も答えられなくなるほど戸惑うようなことを

言われましたが、自分なりに改善した点や、努力していることなどを応えました。校長先生以外の面接官の質問は挙手制で、練習していた内容を生かして1番に手を挙げて応えることができました。

小論文と面接は練習をこなすに限ると思います。できるだけ多くの問題や質問を用意し、体に覚えさせるつもりで何度も繰り返し解き、文字を書くことと自分の意見を言うことに慣れさせる練習をしてください。

千葉県立野田看護専門学校 第一看護学科 (女子)

私は、高校一年の頃に看護師になりたいという夢を持ちました。二年生の夏休みには、看護体験にも参加し、ますます看護師になりたいという強い思いを持ち、進路を考えるようになりました。

三年生になり、新型コロナウイルスの影響で休校の期間、どんな学校があるのか、色々調べました。いくつかのオープンキャンパスにも参加して、やはりここに行こうと決め、試験対策を始めました。長文読解に慣れるために何度も問題を解き、漢字や四字熟語などにも取り組みました。

また、面接の練習にも取り組みました。過去にどのような内容が聞かれているのかを調べ、その学校の特徴やどんな人材を求めているのか、行きたい学校だからこそ深く理解するようにしました。たくさんの先生方や、友人にも面接練習に協力して頂きました。国語科の先生には、試験勉強のやり方や、解き方等、たくさん教えて頂いて感謝しかありません。周り人たちの協力のおかげで無事に合格することが出来ました。これからも感謝の気持ちを忘れずに頑張っていきたいです。

－ 就 職 －

キャノン(株)阿見事業所 (女子)

私は1年生の頃から就職を考えていました。しかし、東京オリンピックで不景気になり、この代の就職は特に厳しくなるから、欠席を無くすことや成績を上げることが大切と言われ体調管理をしっかりして勉強もコツコツ頑張ってきました。

3年生の7月まではハッキリとした就職先を決めていませんでしたが、求人を見て三つの企業を見学し、その中で条件がよく雰囲気に入ったのがキャノンでした。試験当日は自分が思っていた以上に緊張したので、本当に準備は万全な状態にして臨むのがベストだと思います。そしてどの会社に入るとしても成績と欠席日数を見られます。今からでも遅くないので何事にも頑張ってみるといいと思います。

試験前には先生方に協力していただき、様々な点で助けてもらいます。積極的に沢山の先生に声をかけて色々な意見をもらおうと思います。進路実現に向けて頑張ってください。進路のことで協力して下さった先生方、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

株式会社クボタ (男子)

私は3年生の6月頃までハンドボールを続けるために進学をするか、就職をするか悩んでいました。自分のやりたいことをするか、あまり裕福ではない家族のために働くかを考えた結果、就職することに決めました。

多くの会社へ職場見学に行きました。どの会社にも良い所がたくさんありました。それらの会社の良い所や悪い所を比べながら自分にとってどの会社が良いか考え、株式会社クボタを受験することを決めました。内定を目指し様々な先生方に面接練習をしていただき、様々な言葉をいただきました。その様々なアドバイスの中から自分が納得したことを自分の中に入れて練習をたくさんしました。自分が何を伝えたいかをはっきりとさせておくことが大切だと思います。本番当日はとても緊張するので何が起こるか分かりませんから、できるだけ落ち着いて試験に集中することが大切です。SPIもその教科だけを勉強するのではなくて、各教科の基本となる所を勉強した方が良いと思いました。

試験が近くなってから頑張るのではなく、1年生の頃から部活動や学校生活だけではなく、日常生活から一生懸命臨むことで様々な経験をするだけでなく様々な知識なども自然と身に付けることが出来ると思いました。

そして、これまでお世話になった方々へ恩返ししようと思い、内定をもらうという結果で返そうと努力して無事に内定をいただくことが出来ました。これまでお世話になった方々に感謝の気持ちで一杯です。

ネスレ日本株式会社 霞ヶ浦工場（女子）

私は高校2年生の頃から就職に決めていました。将来の夢やなりたい職業が見つからなかったので、大学を選ばずに高校卒業後は社会に出て、働いて自立したいと強く思い、就職という選択をしました。面談の時に担任の先生や進路の先生に相談して、求人票を沢山見て自分に向いているような会社を二つに絞り、会社見学はDNPとネスレに行きました。2社とも見学者の先頭に立ち、積極的に質問をしました。会社の業務内容や雰囲気を見て、ここで働いてみたいと関心を持ったネスレに決めました。私はチョコレートが大好きでどうしても「キットカットの製造ラインで働きたい」と思うようになり、それから面接練習を行いました。自分のことだけではなく会社をどのくらい知っているか、商品名や生産されている物、取り組みなどを徹底して調べました。試験はSPIと面接で、1次試験が受かると2次面接がありました。1次で話したことよりもさらに詳しく会社について調べ、本社の方とのオンライン面接も行いました。私は進路を選択する中で野球部のマネージャーを最後までやってきて良かったと改めて感じました。無事に内定をいただくことができ、ここまで沢山お世話になった進路の先生方、放課後面接練習をしていただいた先生方には感謝で一杯です。誰かの為に役に立てるようなひとに成長し、4月から感謝の気持ちと挑戦する姿勢を忘れずに頑張ります。

メークス株式会社（女子）

私は高校一年生の時から就職に決めていました。メークスに就職したいという明確な目標はなかったのですが、少しでも条件のよい会社に入りたいと考え、成績を上げるよう頑張ってきました。

職場見学には3社行きました。アットホームな雰囲気や自分の長所が生かせる会社だと考えてメークスを受験することを決めました。試験では面接試験のほかに適性検査や学科試験を行いました。試験前日までは面接練習を中心に先生にお願いして対策しました。本番当日はすごく緊張しましたが、無事に合格することができてよかったです。面接はできる限りたくさん練習したほうがいいです。どんな質問にも答えられるようにいろんな先生に練習をお願いすると本番の時に焦らないで答えられると思います。

進路面でお世話になった先生方、いつも応援してくれた親には感謝の気持ちで一杯です。